

町のうごき	
本籍数	5,268
本籍人口	16,208
世帯数	4,359 (4,348)
住民登録人口	15,921 (15,882)
内	{
男	7,719
女	8,202
11月1日現在	
()内は10月1日現在	

報 町

No. 179

昭和52年

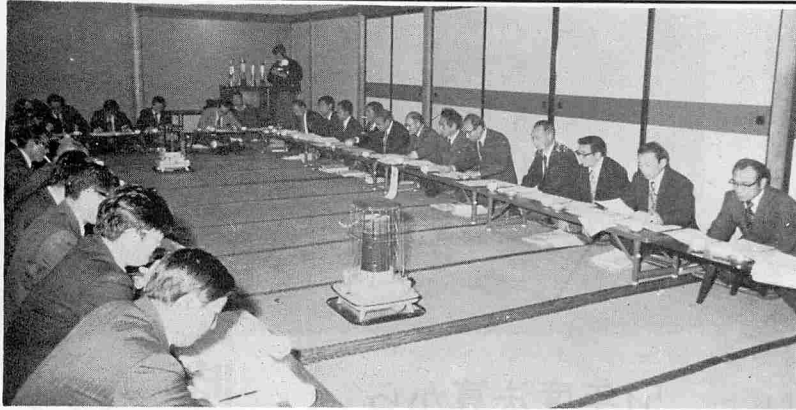
12月1日発行

発行・秋田県天王町役場 電(018878)2211~4
 編集・企画室 印刷・秋田協同印刷 電(0188)237477~8

十一月十七日に意見交換

後世に悔いを残さない開発に

離島方式などを強く要望



▶ 終始、活発な意見がかわされ、離島方式などについて協議！

▶ 本町の要望に熱心に耳を傾ける県議会特別委員会の面々！

十一月十七日、町職員会館において午前十一時より県議会秋田湾地区開発特別委員会と、町当局との間で秋田湾地区開発計画についての意見交換が行われた。席上、町長は「開発に対して基本的には賛成であるが無条件に賛成するものではない。男鹿地区は離島方式であるが、本町においても緩衝水域を設け、属地方式でなく、離島方式にしてもらいたい。」とのべ、また「秋田湾地区開発については住民総参加で対処することが基本である。本町では



▲ 本町の要望事項を説明する町当局関係者！

昭和七十年代を見通した開発計画の素案を検討中であり、これにもとづいて今後、住民の意見を充分くみあげ、さらには大規模工業開発推進委員会、議会の意見を反映させ、町づくりの百年の大計を誤らないように配慮する考えである。」と基本的な姿勢を説明した。

続いて秋田湾地区開発計画の第二次素案に対して、本町からつぎの五項目にわたる要望事項が示された。

(一)工業用地(天王地区)の造成について
工業用地造成は、公害防止、土地利用の上からも、また環境との調和を図るためにも男鹿地区同様離島方式とし、緩衝水域を設けるべきである。

(二)背後地の開発と財政的裏付けについて
工業基地の建設計画と並行して背後地の生活環境整備計画を策定すべきものと考え、特にそれに要する資金運用など具体的な財政的裏付けの明確化が必要であり、具体的に明示されたい。

(三)地元雇用の優先的な具体策について
工業開発に要する労働力として高度な技術者の養成が必要と思われるが、地元雇用の促進をはかるためにも直接背後地である本町に県立工業高等学校を建設すべきである。

(四)漁業者の補償などの対策について
開発により直接影響を受ける漁業者に対する適正な補償と生活安定のため新漁場の開発、養殖漁業の促進を策定し、転業希望者には最優先的な雇用をなすべきである。

(五)農業に対しての具体的な見解と対策について
農業は本町における基幹産業であるが、先進工業地帯の事例にみられるように開発によって大きな後退的变化が懸念されるが、優良農用地の確保ということにとどまらず、これに具体的に対応するための積極的な振興策の明示が必要である。

これにもとづいて、町当局と県議会特別委員会で熱心な意見交換がなされた。

会議終了の後、県議会特別委員会のみなさんは「本町に来てよかった。やはり地元の生の声に接することにより実情が把握できる」と語っていた。

五十一年度決算認定

豊かな町づくりの成果

十一月八日臨時町議会



十一月八日、臨時町議会が開かれ、会期を八日から十五日までの八日間とし、昭和五十二年一般会計補正予算を含む二議案と、昭和五十一年度一般会計・国保・水道・宅造の各特別会計の決算の認定について審議された。

一般会計に補正

昭和五十二年一般会計予算に、歳入歳出それぞれ三千五百六十一万三千円が補正され、歳入歳出予算の総額が十九億四千三百三十万六千円となった。

主なものとしては、境田地区農道整備、下分水地区農道舗装工事請負費などの一千八百六十三万円と、二田新町四十一号農道工事請負費八百九十五万円である。

保育料が改正

昭和四十一年度以降据置きにされていた、天王町立幼稚園の保育料を経済事情等の変動により改正することになり、町立幼稚園保育料徴収条例の一部が改められた。それによると、昭和五十三年度から保育料一千二百円が一千七百円になります。

51年度決算から

一般会計

昭和五十一年度一般会計の当初予算額は十億七千四百四十四万三千円であったのが、その後追加され、最終予算額は歳入歳出それぞれ十二億九千五百二十三万一千円となった。決算額では歳入

が、十四億二千四百三十三万三千円で、歳出が十二億七千三百三十一万四千円となり、差し引き一億五千二百七十一万九千円の黒字になった。単年度では、五十年からの繰越金を差し引いた二千八百八十八万三千円が黒字となった。

国保特別会計

昭和五十一年度の国民健康保険事業特別会計は、歳入が三億九千六百八十六万八千円、歳出が三億八千八百八十七万六千円で差し引き一千四百九十九万二千円の黒字となった。また、単年度では五百五十一万七千円の黒字となった。

水道事業

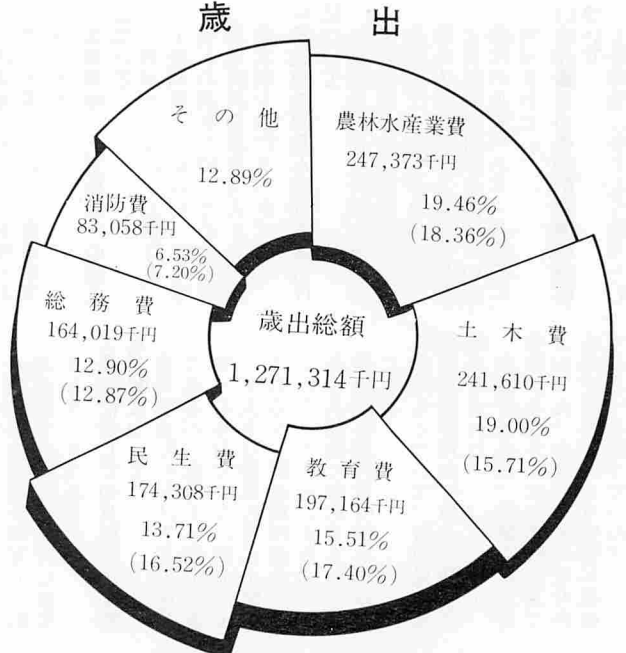
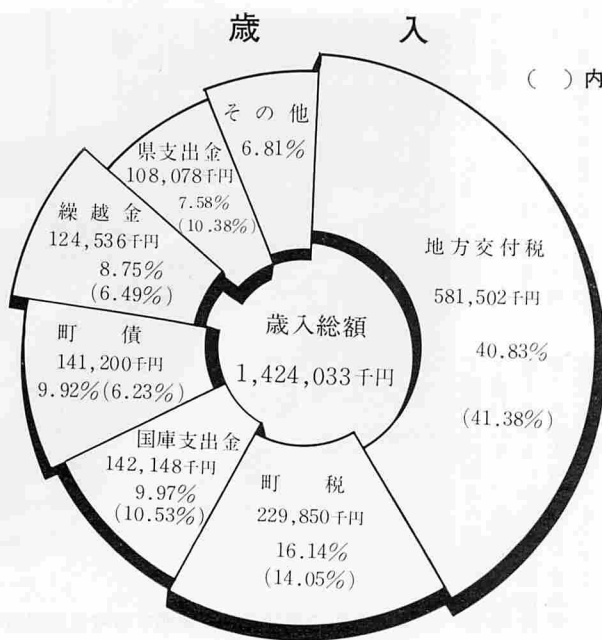
特別会計

簡易水道事業特別会計の昭和五十一年度の収支決算は、歳入八百八十六万一千円、歳出七百六十六万六千円、百九十九万五千円の黒字で、単年度も百八十八万円の黒字となった。

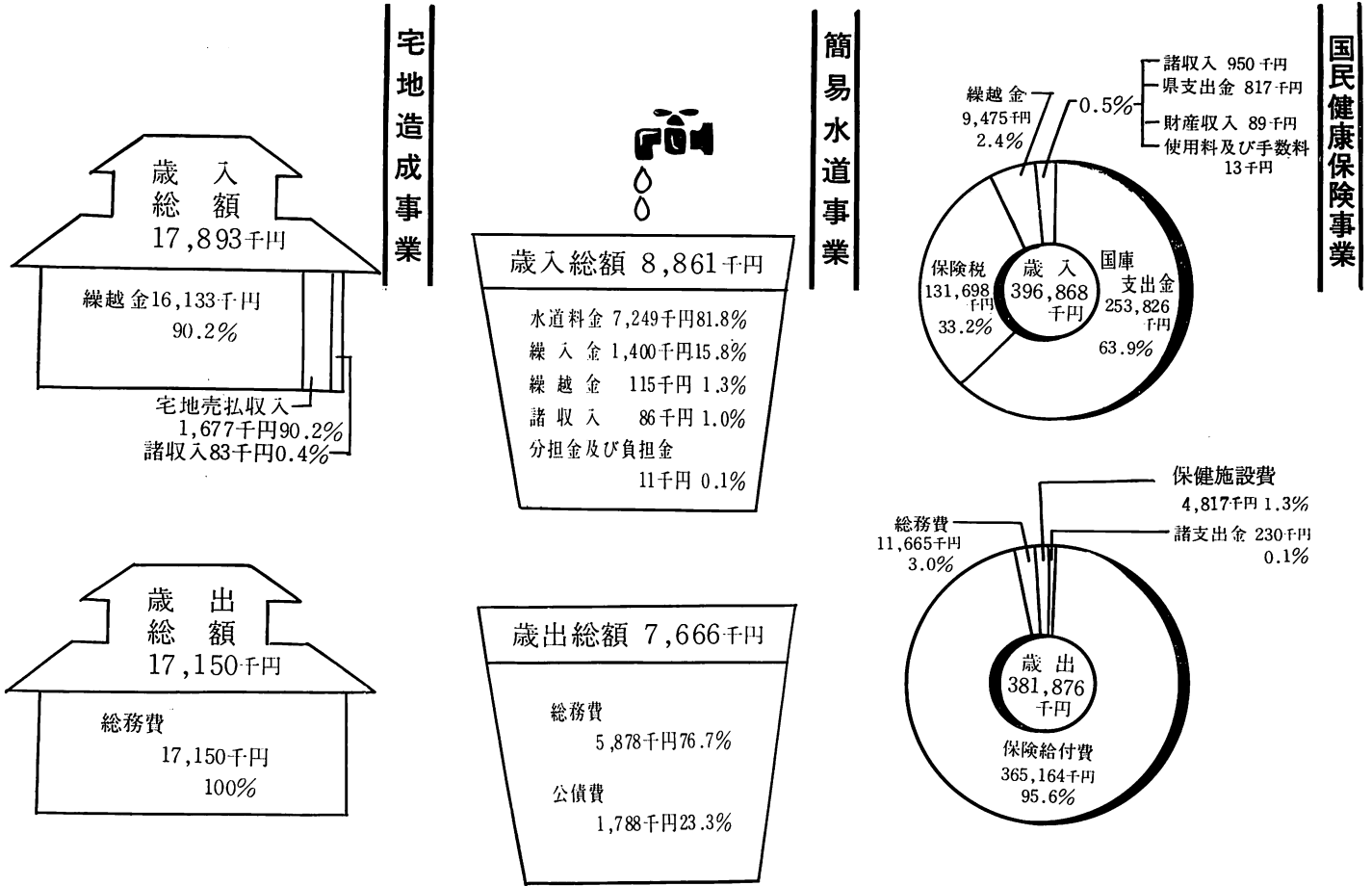
宅造特別会計

昭和五十一年度町営宅地造成事業特別会計の決算は、歳入が一千七百八十九万三千円、歳出が一千七百十五万円で、七十四万三千円の黒字となった。単年度では一千五百三十八万九千円の赤字である。

昭和51年度 一般会計歳入歳出 科目別比較図



51年度特別会計歳入歳出比較図



51年度の主な建設事業

(事業費の単位は千円)

事業名	事業費 (千円)	財源内訳 (千円)		事業内容・効果等	事業名	事業費 (千円)	財源内訳 (千円)		事業内容・効果等
		特定財源	一般財源				特定財源	一般財源	
二田3号集落道舗装工事	7,684	7,500	184	ℓ=227m A=227m ² 改良舗装	農村総合整備モデル事業	90,000	42,700	2,300	農業排水路5路線 ℓ=1,644m 農道整備4路線 ℓ=1,936m 集落道整備4路線 ℓ=1,068m 農村公園 2ヶ所 A=5,239m ²
道合線舗装工事	11,453		11,453	ℓ=367m A=1,174m ² 改良舗装	下分水地区農道整備事業	2,828	2,814	14	舗装 ℓ=3,157m
大崎部落内水路改修工事	2,297		2,297	ℓ=180m U型溝	境田地区	5,454	5,427	27	路盤改良 ℓ=240m
出戸開拓中央線舗装工事	8,790	8,600	190	ℓ=956m A=3,824m ² 舗装	新繩手地区	3,030	3,015	15	路盤改良 ℓ=259m
天王12号線排水工事	2,050		2,050	ℓ=126m φ=400 ヒューム管	出戸地区	5,353	5,326	27	路盤改良 ℓ=494m
追分西1号線道路舗装工事	13,950	13,950		ℓ=357m A=2,213m ² 改良舗装	持長根地区	10,100	10,050	50	路盤改良 ℓ=820m
江川1号集落道舗装工事	6,022		6,022	ℓ=175m A=336m ² 改良舗装	三軒屋地区	10,181	10,131	50	舗装 ℓ=686m
江川3号集落道舗装工事	7,712		7,712	ℓ=170m A=550m ² 改良舗装	大長根地区	4,040	4,020	20	路盤改良 ℓ=348m
車庫建築工事	4,850		4,850	鉄骨105m ² 1棟	大崎碓地区	3,535	3,517	18	路盤改良 ℓ=480m
北野4号線道路舗装工事	7,800	7,800		ℓ=568m A=3,192m ² 改良舗装	大崎碓(2)地区	3,030	3,015	15	路盤改良 ℓ=320m
公営住宅建設事業	113,851	81,756	32,095	住宅24戸 道路舗装等	上沖中谷地地区	2,020	2,010	10	路盤改良 ℓ=200m
宅造集会所建築工事	8,470		8,470	147.4m ² 1棟	出戸小学校 便所増築工事	1,600		1,600	A=22.6m ²
防火貯水槽工事	14,474	1,768	12,706	40m ² 9基	天王中学校運動場 用地整地工事	9,550		9,550	A=2,737m ²
江川ごみ投棄場 般入路工事	4,200		4,200	ℓ=66.25m W=5.3m	天王幼稚園保育室 増築工事	6,750	4,700	2,050	A=78.9m ²
追分西児童公園 設置工事	6,000	5,900	100	A=7,955m ²	出戸幼稚園遊戯室 増築工事	9,780	9,684	96	A=153.9m ²

大会伝記施行制田

二田強し八連勝

他チームの追随許さず

町恒例の第二十六回町制施行記念駅伝大会が十一月三日、文化の日に行われた。コースは役場前をスタート・ゴール地点とし町内一周の二十九、三キロメートル(十一区間)にわたって熱戦が展開された。今大会の参加チームは十チームを数え、二田チームの八連覇を阻むチームはどこかに関心が高まった。

午前十時、関係者多数見守る中、一斉にきれいなスタートを切った。二田チームは大方の予想どおりトップを占め、そのまま独走かと思われたが前半は思ったよりタイムがのびず、他チームとのせり合いが続き、おもしろい試合展開となった。しかし、中間の六区に入ると二田の加賀政吏選手がもうぜんた。その後二位で追いこみをかける大崎チームの追隨を許さず、一時間四十分四十秒の好タイムで八連勝をおさった。

成績は次のとおり

- ▽優勝 二田チーム 一時間四十分四十秒
- ▽準優勝 大崎チーム 一時間四十二分四十二秒
- ▽第三位 出戸新町チーム 一時間四十二分五十八秒
- ▽第四位 塩口チーム 一時間四十八分二十六秒
- ▽第五位 天王チーム 一時間五十分〇三秒
- ▽第六位 上出戸チーム 一時間五十分十八秒
- ▽第七位 羽立チーム 一時間五十二分五十二秒
- ▽第八位 追分チーム 一時間五十三分二十三秒
- ▽第九位 江川チーム 一時間五十三分五十二秒
- ▽第十位 三軒屋チーム 一時間五十六分四十七秒



- ▽ラップ賞
- 一区 加賀政良(二田) 六分三十三秒(大会新)
- 二区 筒井正悦(出戸新町) 九分〇八秒
- 三区 三浦義彦(大崎) 八分十九秒
- 四区 佐々木八男(出戸新町)

スタート前の緊張した一瞬!

第3回天王町テニス大会

ラケットも軽く

天候に恵まれた十一月十三日、町軟式庭球場で「第三回天王町テニス大会」が行われた。前日まで雨が降り続き、コートの使用が危ぶまれたが快晴になり、絶好のコンディションとなった。参加者も二十歳以上七組の十五組を得て熱戦が展開された。

- 二十歳以下では笹渕、鈴木組が予選リーグ、決勝トーナメントと順調に勝ち進み、優勝。また、二十歳以上では、昨年の第二回大会個人優勝の越中選手と、老練なテクニクを誇る下田選手の最古参チームが若い児玉、村山組を三対一のスコアで破り優勝した。
- 成績は次のとおり
- ▽二十歳以下
- ▽優勝 笹渕信雄 鈴木 博
- ▽準優勝 吉田浩典 佐藤栄美
- ▽第三位 児玉浩輝 成田幸夫
- ▽二十歳以上
- ▽優勝 下田恭司 越中俊一
- ▽準優勝 村山久尚 児玉 優
- ▽第三位 川辺紀文 水戸瀬磐

豆三四郎もハッスル!

天王町柔道大会

続いて中学、高校と団体戦が行われた。中学の部では船川中が天王中学校を押さえて優勝。また、高校の部では男鹿高校が金農、船川水産に圧勝。団体では羽立チームが圧倒的な強さで優勝。個人では羽立の鈴木司選手が強豪をしりぞけ、晴れの栄冠に輝いた。

十一月二十日、天王小学校体育館を会場に「第十三回天王町柔道大会」が行われた。最初に町スポ一ツ少年団の個人戦が行われ、ふだん先生に教わった技を披露。小さな三四郎は観衆が見守る中、大人顔負けの堂々とした技の応酬に、応援に来た父兄たちのどをからして声援。



三コートにわかれて熱戦を展開!

- 成績は次のとおり
- ▽スポ少年個人戦
- ▽優勝 桜庭康成(塩口)
- ▽準優勝 三浦雅幸(大崎)
- ▽第三位 三浦博人(大崎)
- ▽中学校団体戦
- ▽優勝 船川中学校
- ▽準優勝 天王中学校
- ▽第三位 弘戸中学校
- ▽高校団体戦
- ▽優勝 男鹿高校
- ▽準優勝 金足農業高校
- ▽第三位 船川水産高校
- ▽一般団体戦
- ▽優勝 羽立チーム
- ▽準優勝 大崎チーム
- ▽第三位 二田チーム
- ▽一般個人戦
- ▽優勝 鈴木 司(羽立)
- ▽準優勝 木元猷治(大崎)
- ▽第三位 安田一彦(羽立北野)

第9回天王町

バレーボール大会開催

町バレーボール協会主催「第九回天王町九人制バレーボール大会」が十二月十八日、天王中学校体育館を会場に行われます。組合わせ、及び試合方法は当日監督会議で決めますので時間を厳守のこと。

- ▽監督会議 午前九時
- ▽開会式 午前九時三十分
- ▽試合開始 午前十時
- ▽申し込み 十二月十七日までに町公民館にお申し込みください。
- ▽参加費 一チーム千円 (当日持参のこと)

郷土史コーナー【62】

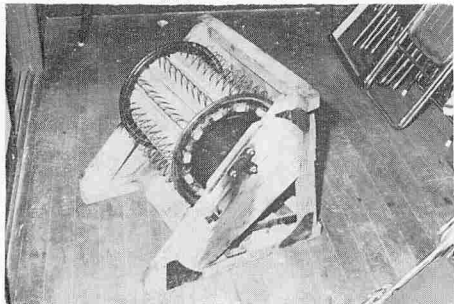
足踏み稲こき機

田んぼで乾燥させた稲はリヤカーや荷車に満載して街道をあとからあととらつづいて通る。幼い子どもたちまでが身にある稲をせおって手伝いをする稲あげの風景があらちこちらに見うけられたのは、ひと昔前である。

稲あげのあと、田んぼに落ちた一房の落穂でも拾いあげる。肌寒い風に雲足も一段と早まってくる。

田んぼからあげた稲はひとまず稲小屋やイナベ(稲部屋)に運びこんでやっと乾燥させた稲を時雨にぬらさぬようにする。そして稲こきは夜中の一時頃からはじめられる。

足踏み稲こき機や動力脱穀機が部落中の家々から闇にブンブンひびく。暖かい地方では田



んぼでこの作業を行うが、天候の悪い当町では見ることができなかった。コンパインで作業を行う今日では、このような風景も昔語りになってきている。(菊地 記)

…ちょっと一言…

脳卒中を予防しましょう

普通「あたる」といっていますが、本町における脳卒中の死亡数は毎年30名近くおり、そのほとんどが働き盛りの男性に多くみられます。

さいわい命は助かって身体に後遺症が残り、つらい毎日を送らなければなりません。本人はもとより、家族の心身の苦勞は非常に大きなものです。

今日の医学ではある程度予防ができるという明るい面とおしがありますが、いぜんとして脳卒中の数が減らないという事はどこに問題があるのでしょうか。

原因を大阪府立成人病センターの先生や、県の衛生科学研究所の児島先生たちの発表されたものを要約してみました。

- 脳卒中をひきおこす要因は高血圧です。治療の放置や中断はいけません。売薬をのんだり、薬をかげんしてのんでいる人もいけません。
 - 若い人で短期間のうちに高血圧の進みかたの早い人、また両親のいずれかが若くして「あつた」場合、それに過勞、寒冷があげられます。
 - 40歳以上で体重が26パーセント以上の肥満度のある人。
 - 糖尿病の合併症がある場合、つまり脳卒中の人が糖尿病があればあたり直しがおきやすい。
 - 食生活が単純で、しかも塩辛いものが好きな人や、残業の疲れを酒でとろうと晩酌の量が多い場合。
- このような方々は十分な注意が必要です。
幸せな生活は、まず健康が一番です。

「大いなる秋田」天王町公演

—観衆を魅了—

11月2日、天王中学校体育館において南秋田郡中学校吹奏楽部、ならびに五城目高校吹奏楽部員によって、明治百年を記念して作られた「大いなる秋田」の天王町公演が行われました。

この演奏会は男鹿・南秋・河辺地区においては初めての試みで、吹奏楽部員に天王中学校2・3年生全員の合唱を混えて演奏されました。

この「大いなる秋田」は、秋田の風土、歴史と文化、そして悠久の未来を描いた勇壮な曲で全楽章が演奏されると観衆のどよめきと感嘆の声がもれ、この曲のすばらしさにしばし酔いしれていました。



ダイナミックな演奏で観衆を魅了

- 秋田を分けて舳の波白し 鈴木 玉斗
- 白菊や紙人形に目鼻なく 佐々木 汀月
- 落葉降る中に寂摺る音沈め 藤原 邦
- 訪ねれば菊のみ香りてはの暗き 児玉 伯秋
- 秋海棠弾かざる琴を娘が移す 安田 鹿山
- 太き五指に艶溢れたり今年米

すばらしい出品物に思わずため息が！



第三回天王町文化祭 自慢の作品を展示

十一月十九、二十日の両日、町公民館において「第二回天王町文化祭」が盛大に行われました。

これは日常生活の中で趣味や特技を発表、展示し、住民総参加で生活文化の意識を高めようとして開かれています。展示会場には書道、絵画、生花、俳句、短歌など数百点が展示され、見る人たちの目を惹きつけました。

また、農協青年部の方々に由る農作物の即売では見事な大根や、はくさいなどが飛びように売れ、品切れとなり関係者をあわてさせる一幕もありました。婦人会の不用品販売では、日常不用になった物を即売するもので、新品と変わらない品々が破格の安い値段になっており、訪れた人たちもビックリ。

茶道コーナーでは、女性の方々が押すな押すなの大盛況でうれしい悲鳴をあげていました。二十日の午後からは体育館で芸能発表が行われ、天王中学校演劇部員による「チエ丸のいたずら」が上演され、観衆をうならせた。また、民謡や踊りが行われると拍手がとられ、楽しいひとときを過ごしました。

「天王中学校」創立30周年

……昭和22年に開校……

天王町立天王中学校が、昭和二十二年の六・三制新教育制度によって開校されて以来、三十年を迎え、十一月一日同校において創立三十周年記念式典が関係者多数参加して厳粛に行われました。同校は昭和二十二年に天王小学校校舎内に天王村立天王中学校（出戸小学校に分校）として創立されました。

人権相談所へ

どうぞ

【無料で・秘密を守ります】

土地や家の問題で困っている方、家庭のもめごとで苦勞しているなど、その他心配ごとはお気軽にご相談ください。

相談は、人権擁護委員や、法務局職員がみなさんの相手となりどのような相談にも応じます。

日時 十二月五日（月）
午前十時～午後三時

場所 天王町公民館

民俗資料を寄贈

町の民俗資料として三氏より町公民館へ寄贈されました。

- ▽天王町天王字二田 高橋貞治氏：サツシヨ 三点
- ▽天王町天王字上江川 三浦 勇氏：無盡帳
- ▽天王町天王字不動台 桜庭茂作氏：つぼ

短歌

天王町短歌会（十一月）

- 小林 ワカ 宛鼻溪清き流れの水底に川魚遊ぶ列を連ねて
- 吉田 四郎 乱雑に我等ぬぎたりスリッパを並べし君はおくれ座につく
- 安田 ツル 不具の身の憂さも忘れて励むなり吾にはわれの楽しみあれば
- 渋谷 キン 絵の中の小径をバスの通るごと紅葉綴る茶臼峠は
- 藤井 智恵 さりげなく茶をいれる娘と共にすむ日いくばくならむ熱きを啜る
- 児玉 三郎 燃えし藁もえたるままに黒ずみて刈田に細き昼の雨降る
- 児玉 俊一 現つ身のはかなさもろさ聞く朝は人ごとならず胸を打たれぬ

俳句

天王町俳句会（十一月）

- 米谷 冬華 人形に花替えて来て菊師酔う
- 京谷 郷愁 月清し町の灯遠く睡帰る
- 渡部 六愁 恋の橋かかり稲架結う力糲
- 京谷 蒼湖 菊飾り結納の品取まれり
- 戸田 栄春 秋團を分けて舳の波白し
- 鈴木 玉斗 白菊や紙人形に目鼻なく
- 佐々木 汀月 落葉降る中に寂摺る音沈め
- 藤原 邦 訪ねれば菊のみ香りてはの暗き
- 児玉 伯秋 秋海棠弾かざる琴を娘が移す
- 安田 鹿山 太き五指に艶溢れたり今年米

